

請 願 ・ 陳 情 文 書 表

令和4年9月定例会

受 理 番 号	5	受 理 年 月 日	令 和 4 年 8 月 1 9 日
請 願 ・ 陳 情 者	渋川市行幸田2745番地6 全日本年金者組合群馬県本部 渋川支部 支部長 町田 孝比古		
紹 介 議 員	角田 喜和		
付 託 委 員 会	教育福祉常任委員会		
<p>後期高齢者の窓口負担2割化実施の凍結を求める意見書提出を求める請願</p> <p>【請願の趣旨】</p> <p>先の国会で、75歳以上の医療費窓口負担について、所得200万円以上（単身世帯の場合）の約370万人を1割負担から2割負担に引き上げることが決まりました。</p> <p>国会の議論でも指摘されたように、高齢者の収入に占める医療費負担の割合は若者世代に比べて3倍から4倍程度も重くなっています。一方で、高齢者の暮らしを支える年金額が4月から0.4%減額され生活不安が募っています。</p> <p>こうしたもとの医療費の負担を増やすことは受診抑制につながり、救える命が救えない事態になりかねません。また、重症化してから医療機関にかかる医療費がかさみます。被保険者の健康に対する啓発活動を強め、健診率を上げることによって早期発見、早期治療こそが医療費を抑制する最善の方策です。</p> <p>については、以下の項目の実現を強く求め、地方自治法第99条の規定に基づき、政府関係機関に意見書を提出していただくよう請願します。</p> <p>【請願事項】</p> <p>75歳以上の医療費窓口負担2割化実施を凍結すること。</p>			